

## 認定NPO法人 自立生活サポートセンター・もやい

新型コロナウイルス感染症の影響で、仕事を失ったり、収入が減少したり、住まいを失う人が多くなっている中、緊急支援として「ともに生きぬく」プロジェクトをスタートしました。感染症対策を徹底したうえで週2回の生活支援相談会開催と、食料品等の物資提供、緊急的な宿泊先の提供などを行っています。相談会では、4月1カ月で160人の相談に対応しました。初めて相談に来た人が約半数を占めています。インターネットカフェが休業して住むところが無くなった人など、若い人の相談も増えています。食料品等の提供では、感染症拡大前は1回70人程度でしたが、現在は180人程度が増えています。今後企業の倒産が増えると、生活に困窮する人がさらに増えることが予想され、長期に亘った支援が必要です。



物資支給にできた長い列©認定NPO法人 自立生活サポートセンター・もやい

## ホームレス総合相談ネットワーク

ホームレスなど生活に困窮する人への支援を行ってきましたが、新型コロナウイルス感染症によって支援のニーズが高まる中、電話相談、アウトリーチ路上相談会、ガイドブック(写真参照)配布などを実施しています。これまで電話相談は週3回でしたが、4月から毎日実施に切り替えました。毎日10人~15人の相談が、全国から寄せられています。仕事を失ったり、事業収入が途絶えたりして困窮し、路上で生活している人、車上生活をしている人、居宅で生活困窮に陥った人などからの相談です。相談の内容は様々ですが、必要な支援にたどり着くよう、近隣の人には面談や生活保護の同行支援など、遠方の人には、電話対応のみで解決できを実施しています。



02 東京		払込取扱票		通常払込料金 加入者負担
口座記号番号	00170-5-95979	金額	95979	通常払込料金 加入者負担
(京)カトリック中央協議会 カリタスジャパン		右詰めにご記入ください		
加入者名	記載欄	金額	95979	記載欄
新型コロナウイルス感染症緊急募金				
該当する方は <input checked="" type="checkbox"/> を付けて下さい。 <input type="checkbox"/> 匿名希望 <input type="checkbox"/> 領収証不要				
住所	(〒 ) (TEL )	受付局	日附	様
依頼人	氏名	料金	受付局日附印	印
ご記入欄を訂正印を押してください。				
これより下部には何も記入しないでください。				



カリタスジャパンでは、皆さまからのお祈りを募集しています。新型コロナウイルス感染症(COVID-19)にともなうお祈りを本裏面に書いて切り取り、カリタスジャパンへお送りください。寄せられたお祈りは、ミサで奉納いたします。

世界はまだパンデミック、そしてこれを機に発した様々な課題の渦中にあります。その中で「ラウダート・シ」考察の特別年が始まりました。これまで以上に厳しい状況に置かれて支援を必要とする方々をまず心に留めて、私たち「みんなのいえ」である地球環境について考え、世界のパートナーと一緒に活動していきたいと思います。

### 編集後記



We are Caritas No.19 (2020年臨時特集号)  
郵便振替番号 00170-5-95979  
宗教法人カトリック中央協議会 カリタスジャパン  
発行人 菊地 功  
〒135-8585 東京都江東区潮見2-10-10 日本カトリック会館  
TEL:03-5632-4439 FAX:03-5632-4464  
Email:info@caritas.jp URL <https://www.caritas.jp>

[f https://www.facebook.com/caritasjapan](https://www.facebook.com/caritasjapan)

**郵便振替**  
中面の払込取扱票にて、郵便局より(振込手数料なし)で送金いただけます。  
なお、払込取扱票が必要な場合は、カリタスジャパン事務局までご連絡ください。  
口座番号: 00170-5-95979  
加入者名: 宗教法人カトリック中央協議会  
カリタスジャパン  
※記入欄に「新型コロナ緊急募金」と明記してください。  
【ご注意】  
ゆうちょ銀行ATMをご使用の際は、機械読み取りの関係上、ミシン目通りに切り取っていただきようお願いいたします。

**クレジットカードによる募金**  
カリタスジャパンのウェブサイト  
URL: <https://www.caritas.jp/2020/04/20/2920/>  
にて、受け付けております。クレジットカードによる募金は、お使いいただけるクレジットカードは、MASTER、JCB、VISAの3種類です。  
◎領収書をご希望のかた、匿名希望のかた(献金者名簿に氏名が不可ののかた)は、お支払い画面備考欄にその旨お書きください。なお、領収書の発行は決済会社の都合上、1か月程度要します。

**「ゆうちょダイレクト」インターネットサービス、他行からの振込み**  
カリタスジャパンのウェブサイト URL: <https://www.caritas.jp/donate/> を参考に、  
依頼人番号、氏名の後に「6257」(新型コロナ緊急募金の意向番号)を記入してください。  
【ご注意】  
お振込者情報が限定開示のため、お名前、振込金額、ご連絡先(メールアドレスまたは電話番号)を事務局まで必ずご連絡いただきますようお願い申し上げます。

援助実績一覧(2020年1月~4月)			
援助国/地域	援助活動名	援助団体	援助額
国際カリタス 緊急支援要請	ヨルダン シリア・その他難民とヨルダン人困窮者人道支援1/3年目	カリタスヨルダン(Caritas Jordan)	1,102,900
レバノン	社会経済危機緊急支援	カリタスレバノン(Caritas Lebanon)	550,000
ザンビア	干ばつ緊急支援	カリタスザンビア(Caritas Zambia)	545,550
ジンバブエ	干ばつ緊急支援	カリタスジンバブエ(Caritas Zimbabwe)	1,091,100
スードン	ダルフール避難民支援	カリタスイングランド・ウェールズ(CAFOD)	1,091,100
パングラデシュ	ロヒンギャ難民・受入コミュニティ住民支援	カリタスパングラデシュ(Caritas Bangladesh)	2,189,600
エチオピア	干ばつ緊急支援	カリタスエチオピア(Caritas Ethiopia)	554,350
レバノン	経済・政治危機 緊急支援	カリタスレバノン(Caritas Lebanon)	1,088,800
エクアドル	ベネズエラ移民保護緊急支援	カリタスエクアドル(Caritas Ecuador)	1,088,800
ウクライナ	紛争被害者支援	カリタスウクライナ(Caritas Ukraine)	1,192,350
ギリシャ	難民キャンプ支援	カリタスギリシャ(Caritas Hellas)	1,186,800
海外援助	医療支援	カリタスエルサルバドル(Caritas Jerusalem)	2,182,200
キルギス	カリタスキルギス組織強化支援	カリタスキルギス(Caritas Kyrgyzstan)	2,447,400
キルギス	青少年育成事業	カリタスキルギス(Caritas Kyrgyzstan)	1,315,477
パングラデシュ	少数民族教育支援	カリタスパングラデシュ(Caritas Bangladesh)	5,566,500
モンゴル	貧困地帯の子どもセンター支援	カリタスマンゴル(Caritas Mongolia)	2,737,000
モンゴル	カリタスマンゴル組織支援	カリタスマンゴル(Caritas Mongolia)	2,737,000
東日本大震災	仙台教区 被災地復興支援事業	カリタス釜石	22,579,807
	仙台教区 大船渡ベース支援活動	大船渡ベース	14,288,855
さいたま教区	福島県いわき市在住原発事故被災者支援	さいたま教区サポートセンター	219,875
東京教区	東日本大震災福島県内外における被災・避難者への支援システムの構築	カリック東京教区ボランティアセンター	6,004,805
台風19号灾害	仙台教区 台風19号による被災地支援事業	カリタス南三陸	1,149,415
熊本地震	仮設住宅などにおける生活に必要な家電・備品配布事業 2019年12月~2020年3月配布分	くまもと災害ボランティア団体ネットワーク(KVOAD)	16,154,750
新型コロナ 緊急募金	東京教区 「ともに生きぬく」支援プロジェクト	NPO法人自立生活サポートセンター・もやい	1,500,000



Caritas

# COVID-19 対策支援に寄せて

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の拡大は、社会全体をひっくり返そうとしています。目に見える形での貧困や、武力による紛争、そして大規模な災害によって、たびたびのもの危機に直面してきた人類は、これまでの経験を通じて、いのちを救うための対応を学んできました。

しかし今回は状況が異なります。世界的に見て、これだけ多くの人がいのちを失っている感染症の拡大は、大災害です。身を守る方法も確立されておらず、試行錯誤が続く中で、小さな弱々しい存在であるウイルスが、社会をすべて止めてしまったのです。

「お金は社会の血液だ」と言って、わたしたちは経済発展を優先させ、相対的に人間の生きる環境を整えてきました。その価値観は、社会から排除される人も多数生み出しましたのも事実です。いまその価値観は、大きな挑戦に直面しています。

この危機を乗り切るために、わたしたちは連帯を強めなくてはなりません。同情やあわれみではなく、いのちを守る仲間として、確固たる決意で連帯しなくてはなりません。脱落する人がひとりも出ないように、手を取り合って支え合うことの重要さを、あらためて認識しなければなりません。社会は、支え合うことによって希望を見だし、発展するのです。

カリタスをはじめとした援助団体でも、これまでとは異なる取り組みが今回は必要です。いのちを守り、希望に満ちた世界を生み出して行くために、みなさまのご協力をお願いいたします。

菊地 功(カリタスジャパン 責任司教)



### 新型コロナウイルス感染症に苦しむ世界のための祈り

いつくしみ深い神よ、  
新型コロナウイルスの感染拡大によって、  
今、大きな困難の中にある世界を顧みてください。  
病に苦しむ人に必要な医療が施され、  
感染の終息に向けて取り組むすべての人、  
医療従事者、病患者に寄り添う人の健康が守られますように。  
亡くなった人が永遠のみ国に迎え入れられ、  
尽きることのない安らぎに満たされますように。

希望と慰めのよりどころである聖マリア、  
苦難のうちにいるわたしたちのためにお祈りください。  
(2020年4月3日 日本カトリック司教協議会認可)

# カリタスの使命：

## 新型コロナウイルス感染症の 世界的広がりの中で

ウクライナ

紛争下の取り組み

2020年4月から緊急支援実施中

2014年からロシアとの係争が続くウクライナ東部では、紛争の影響でこれまで1万4千人の人々が亡くなり、300万人以上の人々が貧困生活を強いられています。その中で、今回の感染症に見舞われました。地域の封鎖によって、僅かな就労の機会は奪われ、多くの人々が医療を受けられない中で、カリタスウクライナは4月から緊急支援を開始し、約1ヶ月の間で8,600人の人々へ温かい食料の供給や衛生用品、医療品などの緊急支援を予定しています。



カリタスの支援と支援を受けた人の笑顔 ©Caritas Ukraine

支援物資の提供を行いました。現在係争中である土地は非政府管轄区と、政府管轄区に分けられていますが、普段から人々の移動は制限され、必要物資を調達する市場に行くこと自体、非常に難しい現実があります。しかし、現地に根ざしたカリタスウクライナの活動はネットワークを生み出し、それを可能にしています。カリタスウクライナでは今後さらに1万人への支援を予定しています。



イラク

紛争後の取り組み

2002年から国内避難民の支援を実施中

2003年のイラク戦争以降、国の混乱が続く中で、カリタスイラクは国内避難民の厳しい状況にいち早く危機感を持ち、3月には感染症対策に乗りました。イラク政府保健省と連携し、衛生状態を改善するための衛生用品、啓発用ポスターを配布、感染症専門医と連携し、啓発セミナーなどを実施しています。



祈り、支援活動 ©Caritas Iraq

また、日々の暮らしもまらない貧困層や暴力にあえぐ人々へも日々の医療支援を続けながら、実態調査を実施し、さらなる支援を模索しています。「今回の感染症は支援のあり方を根本から問いかけている。これからは支援する人、される人に最も適した方法をみつけなければならない」とカリタスイラクのスタッフは言っています。



写真はカリタスイタリア、カリタスシリア、カリタスベネズエラの活動から

バングラデシュ

ロヒンギヤ難民キャンプの中で

2006年からチッタゴン丘陵支援を実施中

第二の都市チッタゴンの海岸地域にあるコックスバーガルには、2017年にミャンマーで起きた虐殺や暴力行為から逃れてきた、74万人にも上るロヒンギヤ難民と呼ばれる人たちがいます。人々は竹で作った掘っ立て小屋が密集して立ち並ぶ難民キャンプで、ひしめき合うように生活しています。

カリタスバングラデシュでは、感染症の拡大を防ぐため、NGOや国連組織と協力しながら、隔離施設の設置や、新しいシェルターの設置、感染

症疑いとなった人々への検査を実施してきました。更に、啓発ボスターなどの配布や、医療施設への通行路を確保するためにキャンプ内にある竹橋の整備、感染症予防のためのトイレ掃除キットの配布や、トイレの修復を行ったりしています。このような対策により5月中旬まで難民キャンプにおける感染症患者の発生はありませんでしたが、サイクロンの季節を迎えて洪水も増えるため、非常に厳しい状況の中で感染の爆発的広がりが懸念されています。



感染防止の啓発活動、サイクロン避難所にて ©Caritas Bangladesh

症疑いとなった人々への検査を実施してきました。更に、啓発ボスターなどの配布や、医療施設への通行路を確保するためにキャンプ内にある竹橋の整備、感染症予防のためのトイレ掃除キットの配布や、トイレの修復を行ったりしています。このような対策により5月中旬まで難民キャンプにおける感染症患者の発生はありませんでしたが、サイクロンの季節を迎えて洪水も増えるため、非常に厳しい状況の中で感染の爆発的広がりが懸念されています。



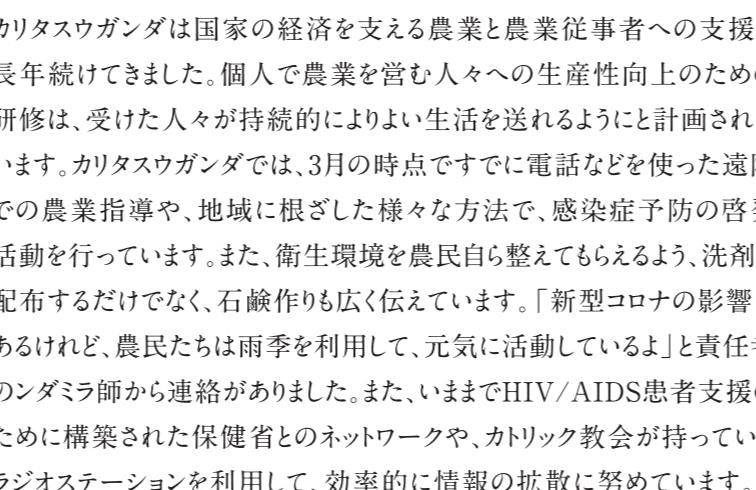
カリタスバングラデシュの活動 ©Caritas Bangladesh

ウガンダ

農地とともに生きる

2003年から持続可能な農業事業の支援を実施中

カリタスウガンダは国家の経済を支える農業と農業従事者への支援を長年続けてきました。個人で農業を営む人々への生産性向上のための研修は、受けた人々が持続的によりよい生活を送れるように計画されています。カリタスウガンダでは、3月の時点ですでに電話などをを使った遠隔での農業指導や、地域に根ざした様々な方法で、感染症予防の啓発活動を行っています。また、衛生環境を農民自ら整えてもらえるよう、洗剤を配布するだけでなく、石鹼作りも広く伝えています。「新型コロナの影響はあるけれど、農民たちは雨季を利用して、元気に活動しているよ」と責任者のンダミラ師から連絡がありました。また、いままでHIV/AIDS患者支援のために構築された保健省とのネットワークや、カトリック教会が持っているラジオステーションを利用して、効率的に情報の拡散に努めています。



距離を保って水の配布を待つ人々 ©Caritas Uganda

この厳しい状況を捉え、国際カリタスは、コロナ緊急基金を立ち上げ、

各国カリタスに寄付を募り、カリタスジャパンも約9万ユーロ(1,075万円相当)の基金協力をしました。各國カリタスは一丸となり、日頃の

支援活動に加えて感染症対策に乗り出しています。今年3月から5月

までの間で、カリタスがサポートした人々は190万人に上り、その支援

の輪は90以上の国々に及びます。活動は食糧配布にとどまらず、

感染症の予防やその啓発活動に亘っています。また、平時でも脆弱な

立場に置かれている難民や高齢者への支援に加えて、最前線で

闘う医療従事者への支援なども行なっています。本号では、各國

カリタスから届いた感染症対策の取り組みを紹介します。



この受領証は、郵便局で機械処理をした場合は郵便振替の払込みの証拠となるものですから大切に保存してください。

ご協力ありがとうございます

現在呼びかけ中・受け付け中の募金は下記ウェブサイトでご案内しています。

〒135-8585  
東京都江東区潮見2-10-10 日本カトリック会館

 宗教法人 カトリック中央協議会  
Caritas Japan カリタスジャパン

Tel.03-5632-4439 Fax.03-5632-4464  
E-mail : info@caritas.jp  
URL : https://www.caritas.jp

この払込取扱票の裏面には、何も記載しないでください。

ご注意  
この払込書は、機械で処理しますので、本票を汚したり、折り曲げたりしないでください。

公表してもよい  非公表

地球と人類のための  
共通の祈り



いくしみ深い神、  
天地万物の造り主よ、  
わたしたちの思いを解き放ち、心に触れてください。  
あなたのたまものである被造物の一員でいられますように。

この過酷な日々の中で苦しんでいる人、  
とくにもっとも貧しい人と弱い立場にある人に寄り添ってください。  
感染症の世界的流行に立ち向かう中で、  
創造的な連帯を示すことができるよう支えてください。  
共通善を探し求めるために、  
変化を受け入れる勇気をお与えください。  
皆が互いに結ばれ、支え合っていることを  
今ほど感じられるときはありません。

地球と貧しい人々の叫びに耳を傾け、  
応えられるようにしてください。  
今のこの苦しみが、  
兄弟愛にあふれ、持続可能な世界を築くための  
産みの苦しみとなりますように。

扶助者聖マリアの優しいまなざしのもと、  
わたしたちの主キリストによって祈ります。  
アーメン。

教皇フランシスコ「アレルヤの祈り」後のことばからの抜粋  
カトリック中央協議会誌

写真はカリタスアルメニア、カリタスbangladesh、カリタスシリア、CRS ルワンダの活動から

キ リ ト リ